



令和5年を迎えて

院長 長谷川明広

発行責任者
隠岐広域連合立
隠岐病院長
隠岐の島町城北町

新年おめでとうございます。島民の皆さまにおかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症に対する考え方が大きく変わった1年でした。コロナウイルスも変異しますが、ワクチン接種のおかげで私たちの対応能力も向上してきました。また、国の政策はwithhコロナの段階に入り、高齢者等の重症化リスクを持った方を重点に守る政策に転換されました。3月の第6波時には自宅療養が始まり、同時にHERSYS管理を構築し、8月には保健所業務の負担軽減に向けて「健康フォローアップセンター」、9月には医療機関の負担軽減に向けて全数把握の見直しを行い「しまね陽性者登録センター」を設置しました。現在ではコロナ抗原定

性検査キットでの自己検査を容認しています。

隠岐病院においては、隠岐圏域の重点医療機関としてコロナ病棟で感染患者の受け入れ体制を整えています。外来では、感染症外来、ドライブスルー、感染症室を設備し、病院の方針として、従来通りの救急外来、透析外来、緊急入院、緊急手術、島外医療機関からの転院の受け入れ機能を維持していきます。しかし、一般病床では活用できる病床が19床減少し、また職員の感染者、濃厚接触者も発生しているため、面会制限、予定手術の延期、早期退院等をお願いしている状況です。病院としては、いつでも救急入院が出来る体制を整えるよう努めています。また、すでにご治療が終了している患者では、適切な退院先が見つかる

らず苦慮しています。大変ご迷惑をおかけしますが、島民の皆さまのご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

今年の病院の大きな計画は病棟の再編成です。コロナ病棟が解除された場合には、3階西病棟36床と4階病棟の17床を一体化して合計53床の地域包括ケア病棟に再編成する予定です。また、令和6年度開始に向けた広域連合立の隠岐病院と町立の診療所の一元化の検討を進めてまいります。

いずれの計画も、医師、看護師、医療技術職をはじめとする医療従事者が充足していることが必須です。医師については、長期にわたり外科、精神神経科医師の招聘を中心に進めてまいりました。4月からは増員が見込める予定です。看護師については、夜勤

が出来ない看護師を募集して派遣看護師の協力をいただいているところとす。隠岐にゆかりのある医療従事者、離島医療に協力的な医療従事者に、私どもだけでなく島民の皆さまからのお声掛けをお願いいたします。

最後に、全職員が力を合わせ当院の理念である「この島に住む、安心の医療」の実現に向け、昨年より一層達成感のある1年となるよう努めてまいります。そして、令和5年が島民の皆さまが安心して過ごせる希望の年となることを願い新年のご挨拶とさせていただきます。今年も何卒よろしくお願いいたします。

2022年度 感染症蔓延防止ポスター コンテスト表彰作品



※受賞者の氏名については本人の意向により発表を控えさせていただきます

産科医療功労者 厚生労働大臣表彰



この度、当院の長谷川明広院長が産科医療功労者として選ばれました。

令和四年度産科医療功労者厚生労働大臣表彰の受賞者は長谷川院長を含め全国で個人四十三名、医療機関は四施設が受賞対象となりました。本来ならば東京の厚生労働省で表彰式を行います。今年度は新型コロナウイルスの影響により中止となり、島根県庁での厚生労働大臣表彰伝達式となりました。

長谷川院長は昭和二十八年旧中条村で生まれ、中学校を卒業するまで中条地区で過ごしています。昭和五十五年には奈良県立医科大学を卒業した後は、関西圏で産婦人科医として研鑽され、昭和五十九年四月に島根県に戻ってこられました。島根県立中央病院や介護老人保健施設で勤務した後、平成二十三年四月に産婦人科医師として隠岐病院副院長に就任しました。

長谷川院長が隠岐病院に着任する以前、隠岐病院の産婦人科は平成十九年四月から常勤医が一名となっており、リスクの高い出産への対応が難しく、正常分娩で出産経験のある低リスク分娩だけを助産科による院内出産で対応するという経緯がありました。

平成二十三年の就任後は再び初産分娩や帝王切開等も当院で可能となりました。

平成三十一年四月には院長に就任し、産婦人科のみならず、透析や地域巡回診療など隠岐の医療に幅広く貢献していただいています。

新規採用職員紹介

渡部 真理子
看護師
(3階西病棟)



2020年8月より派遣看護師として隠岐病院4階病棟、今年一月より正職員として3階西病棟で勤務しております。神奈川県出身の渡部真理子です。長年生産医療に携わって参りました。病棟経験が不足している中、スタッフの皆様が助けていただいたおかげで、これまで楽しく働くことができました。新しい病棟に異動となり、わからないことも多いですが、少しずつ覚えていき、いつか生殖医療の経験が活かせたらと思っています。どうぞよろしくお願ひします。